

公立認定こども園の整備について

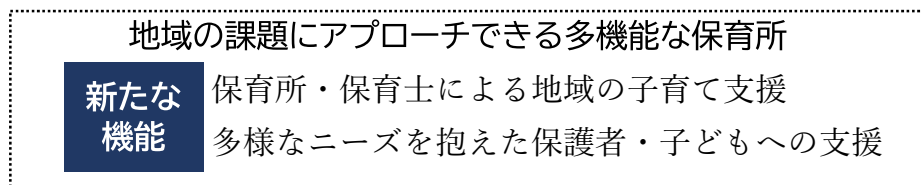
1. 公立園の役割

◆公立園のあり方（意義・役割）4つの柱

- ①幼児教育の拠点
- ②子育て支援の拠点（在宅子育て家庭への支援）
- ③地域のセーフティネット
- ④幼稚園機能と保育園機能の維持

2. 公立園のあるべき姿

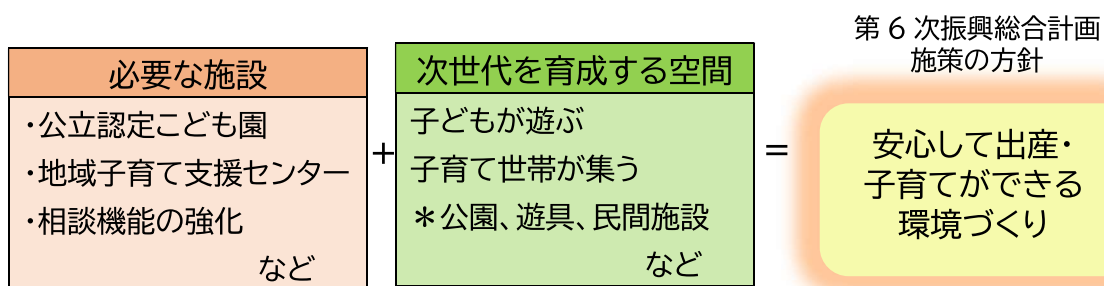
核家族化が進み、家庭や地域において人との関わりが希薄になるなど、子どもや子育て世帯をとりまく環境が変化し、子育てに不安や悩みを抱える保護者の増加、養育能力の低下、子どもの貧困等の課題が明らかになってきている。



3. 公立園整備の方向性

「子育て支援の拠点」として整備

～良質なサービスを生み、エリアの価値をより高める整備～



令和4年度町民アンケート調査結果より

（質問）大津町に対して、どのような子育て支援策を望みますか。（複数回答）

- 1位 子連れでも出かけやすく、楽しめる場所を増やしてほしい。（51.2%）
- 2位 子育てに困ったときに相談したり情報が得られる場所を作してほしい。（38.8%）
- 3位 経済的支援を拡充してほしい。（32.9%）
- 4位 発達に困難を抱える子どもへの支援を充実させてほしい。（29.7%）（上位4項目を抜粋）

*回収結果：配布3,000枚、回収927枚、回収率30.9%